

# 国連平和構築の今

—元国連事務総長特別代表にきく—



**2024年1月22日(月)**  
**13時10分～14時40分**  
**@7号館2階クリスタルホール**

ウクライナ、パレスチナなど世界で戦乱が相次ぎ、米国、ロシア、中国の対立は深まるばかりです。「新たな冷戦」とも言われるなか、国連はその役割を果たせるのでしょうか？日本人二人目の国連事務総長特別代表として東ティモールの平和維持・平和構築を成功に導いた長谷川祐弘氏をゲストに、カンボジア、アフガニスタンなどの経験をもとに考えます。聞き手は元特派員として現地取材した水野孝昭本学教授です。

**長谷川 祐弘 氏**



元国連東ティモールPKO 事務総長特別代表。日本国際平和構築協会理事長・京都国際平和構築センター長。国連に37年間勤務し国連ボランティア計画(UNV)次長、カンボジア総選挙 UNV 選挙監視団統括官など歴任。

国連大学客員教授、国連システム学術評議会(ACUNS)東アジア連絡事務所長。

**聞き手) 水野 孝昭 先生**

湾岸戦争を皮切りにイラク、アフガニスタン、カンボジアなどを取材。朝日新聞ハノイ支局長、ワシントン特派員、ニューヨーク支局長、論説委員(国連・米国担当)を経て本学外国語学部教授。



**神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所 | (共催) IC 学科**

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp